

「ホワイト物流」推進運動

持続可能な物流の実現に向けた自主行動宣言

企業・組合名	役職	氏名	所在地	主たる事業	ホームページ
スリープメディカルクリニック	従業員	黒木拓馬	東京都	医療, 福祉	https://sleep-medical.net

当社は、「ホワイト物流」推進運動の趣旨に賛同し、以下のように取り組むことを宣言します。

最終更新: 2024年8月21日

(取組方針)

・事業活動に必要な物流の持続的・安定的な確保を経営課題として認識し、生産性の高い物流と働き方改革の実現に向け、取引先や物流事業者等の関係者との相互理解と協力のもとで、物流の改善に取り組めます。

(法令遵守への配慮)

・法令違反が生じる恐れがある場合の契約内容や運送内容の見直しに適切に対応するなど、取引先の物流事業者が労働関係法令・貨物自動車運送事業関係法令を遵守できるよう、必要な配慮を行います。

(契約内容の明確化・遵守)

・運送及び荷役、検品等の運送以外の役務に関する契約内容を明確化するとともに、取引先や物流事業者等の関係者の協力を得つつ、その遵守に努めます。

No.	分類番号	取組項目	取組内容
1	A ②	予約受付システムの導入	患者様が直接クリニックに訪れる必要を減らし、物流関連の交通量を減少させる。
2	A ④	発荷主からの入出荷情報等の事前提供	発荷主からの納品スケジュールや内容の事前情報をクリニック側が受け取り、在庫管理や受け取り体制の準備を円滑に進める。
3	A ⑧	出荷に合わせた生産・荷造り等	患者の診療予定や治療計画に基づいて、必要な医療機器やサポート用品を事前に生産し、出荷直前に最適なタイミングで荷造りを行う。これにより、在庫の過剰を防ぎ、無駄のない生産と効率的な物流を実現する。
4	A ⑬	発注量の平準化	年間の消耗品使用量を予測し、季節ごとの需要変動を考慮した定期的な発注スケジュールを組む。過去のデータを基に年間の消耗品使用量を予測し、需要が高まる時期に合わせて発注量を調整する。
5	A ⑮	納品日の集約	週に1回の定期納品日を設定すること。医療機器や消耗品などの納品を複数回に分けるのではなく、週に一度の決まった日にまとめて受け取ることで、物流の効率化を図る。
6	E ①	宅配便の再配達削減への協力	クリニック内に専用の受け取り時間帯や窓口を設ける。クリニックが業者と協力し、宅配便の受け取り専用の時間帯や窓口を設けることで、確実に荷物を受け取る体制を整える。

PR欄	スリープメディカルクリニックは、ホワイト物流を推進するために、持続可能な物流管理に積極的に取り組んでいます。納品日の集約や受け取り確認の徹底により、再配達の削減を図り、効率的な物流運用を実現しています。また、患者や地域社会との連携を強化し、医療機器や消耗品の安定供給を確保することで、環境負荷の軽減にも貢献しています。これからも物流の改善を通じて、より良い医療サービスの提供を目指します。
-----	--